



くろべ 水の少年団

くろべ水の少年団：杉澤 與一
指導者協議会会長

指導教諭：滑川 徳子
能沢 祐一

発表児童：大坪 亮太
山田 駿輔
能登 賢太郎
長島 未央



「くろべ水の少年団」は、平成4年に誕生し、市内11小学校の5・6年生の希望者により結成されています。水環境に恵まれた黒部で育った子供達が、黒部川を中心とした自然観察や施設見学などを行ない、水に「親しみ・学び・考え」、水資源の「大切さ・保全」についての理解を深めるとともに、「水を愛する心」を育てていくことを願っています。

また、他校との交流活動が、心豊かな人間形成に役立つものと信じています。

発表テーマ

立山～黒部川流域～黒部川扇状地の水環境を調べ（接し）、水の偉大さと大切さを知り自然への尊厳の心を養う

(1) 団の紹介・活動の概略 (2) 水の動きと地形 (3) 調査地の植物の様子
(4) 黒部川の水質調査 (5) 清掃活動・水の循環・感謝等
以上5点について発表します。

能沢 祐一 先生より

充実期(16年目)を迎えた、くろべ水の少年団活動

今年も市内11小学校から、62名が入団。しかし、児童たちは郷土の川や自然から学ぶ機会や体験不足で水の少年団では先ず、班編成と野外で生きる班活動のしかた、自然の見方や考え方等を十分に班別指導者(10名)から習熟させて年6回の野外学習に臨みました。

また、今年も黒部川の清流に親しみながら「水の動きや大切さを理解し水を愛する心」を育み、黒部名水会とも交流して豊かな水環境を守るための諸活動を重ねてきました。その結果、団員たちは毎日に川を見る目が深まり、また動植物との共生にも強い関心を抱き水環境をチェックし、黒部川の水質改善の一役も担ってきたと思う。とりわけ、今回の活動発表会への参加は団員たちの将来に大きな体験と自信、そして更なる飛躍のよい機会になったと思う。



考えたこと! 感じたこと!

くろべ水の少年団活動を行って

長島 美央(6年生)

私は「くろべ水の少年団」に入って本当によかったです。活動はなかなかできない体験が多く、一番心に残っているのは、立山カルデラです。くろべ水の少年団が発足して15年目にして初めて行ったので、貴重な体験ができました。歩いての移動は大変だったけれど、テレビで見ていたものを直接見ることができてよかったです。水質調査も一年目はなかなか慣れなかったけれど、二年目は一人ですらできるようになりました。川の水は冷たくて気持ちよく、川の中にいろいろな水生生物がいるんだという発見もありました。見つけた時はとてもうれしかったです。このような体験をこれからの学習や生活に活かしていきたいです。



▲7月27日(金)黒部川水生生物調査(上流部)
上流部の水は冷たく大変きれいでした。温泉が湧き出ているところもあり感動!



▲6月10日(日)結団式
結団式のあと水質調査に欠かせない観測器具の使い方を学びました。



▲7月1日(日)荒俣海岸清掃・地形植生調査・杉沢の沢杉・尾山川水生生物調査
荒俣海岸に打上げられたゴミあつめ。あらためてゴミの多さにビックリ。



▲7月27日(金)黒部川水生生物調査(上流部)
さあ、黒部川上流部へ出発!



▲8月10日(金)北アルプス源流調査
浄土川での水生生物調査。川には砂が無く、とがった石がゴロゴロ。



▲8月21日(火)黒部川水生生物調査(中・下流部)
下流部でライフジャケットを着用しての水生生物調査。



▲8月21日(火)黒部川水生生物調査(中・下流部)
黒部川の水質保全活動の一環として下流部の河川清掃を行なう。

学習テーマの設定

活動を続けて16年目

水と親しみ、水を愛し、水を大切に、心豊かに成長することをめざす「くろべ水の少年団」。創立16年目を迎えた今年は、黒部市内の小学校11校から62名の団員が参加しました。



黒部川の流れをたどる

活動は6月の結団式から始まり、夏休み中に4回、9月の修了式まで6日間でした。黒部川源流の北アルプスから、黒部峡谷の鐘釣、中流の愛本、下流の荒俣海岸まで、水の流れをたどってさまざまな活動をしました。

学習の展開

水がつくるいろいろな地形
立山・室堂から見えるU字谷は氷河が削り取った谷で、黒部峡谷は水が削ったV字谷の連続です。中流の愛本橋付近で川幅が狭くなり土や石がたまり河原ができ、下流の広い河原は何本もの川が流れています。



流れをたどり植物に学ぶ
岩の割れ目に根をはる立山の高山植物、愛本えん堤の県天然記念物・ウラジロガン、入善町の沢スギ、荒俣海岸でつけた砂浜の植物など、源流から下流へたどって観察した植物から多くのことを学びました。

生物と水質の両面から調査
水質調査は上流の黒部峡谷・鐘釣から、中流、下流で行い、それぞれきれいだと判定できました。水温の変化や水中酸素なども調べ、生物と水質の両面から黒部川の水はきれい良い水だとわかりました。



地域の海岸清掃に参加

村椿地区では毎年7月第1日曜日が海岸清掃の日です。今年も団員全員が参加しました。私たちはいつも「来たときよりも美しく」の精神で、川を汚さないように活動しています!

水はめぐり自然をつくる

北アルプスに降る雪や雨が山を削り、谷を掘り、削った土砂が扇状地や砂浜をつくり海へ運ぶ。海から蒸発した水は雲になり雨になる…。活動を通して私たちは水がつくる自然の中に生きていくと実感しました。

